

環境学習公開講座

「エコな暮らしを楽しむコツ！
～私たちにもできる、知ってお得な地球温暖化対策！～」

東京都地球温暖化防止活動推進センター（クール・ネット東京）のエコアドバイザーが、家庭で取り組める省エネのコツをお話します。わが家の省エネ度をチェックして、光熱水費削減のコツを学びましょう。

日時／2月20日（日）午前10時～11時
場所／文化会館たづくり8階 映像シアター
内容／①わが家の省エネ度をチェック！

- （電気、ガスの使用量のお知らせを見よう）
- ②少ない冷暖房で「快適」の工夫（暑さ、寒さは窓からやってくる）
- ③省エネの肝は「お湯」の使い方（ポイントは量と温度）
- ④買い替えでぐんと省エネ（選び方のポイント）

費用／無料

対象／小学生程度以上の子どもとその保護者
※高校生以上の方のみでの参加も可

定員／申込み順80人

申込／1月24日（月）～2月10日（木）までの土、日曜日を除く8時30分～17時に、電話で環境政策課まで

持ち物／（あれば）任意の月の電気、ガスの使用量のお知らせ各1枚

その他／ご家庭でお使いのエアコン・冷蔵庫・テレビのメーカー、型番、購入年、エアコン冷暖房能力（KW）、冷蔵庫内容積（L）、テレビ画面サイズ（インチ）の情報を当日にいただければ、最新の省エネ家電に買い替えた時の電気代の削減効果を試算します。

セミナー受講の後、アンケートに御協力いただいた方にはエコラップをプレゼント！

親子参加でお子様のアンケート参加にはクール・ネット東京の手ぬぐいを、また、希望者には調布ゆかりの絵などが入ったエコバックを差し上げます。

LED電球の寄付がありました

9月28日、株式会社ノジマから「地元への利益還元」として、株式会社ノジマより、調布市に対してLED電球55個の寄付がありました。

同社は、店舗がある自治体への寄付を実施していて、調布市小島町の商業施設に店舗があることから、今回の寄付となりました。

ご寄附いただいた物品は、省エネ施策の一環として、市内公共施設での利用を進めていくほか、環境啓発事業などでも有効に活用させていただく予定です。



野焼きは禁止されています

焼却設備を使用せず、廃棄物を焼却すること（いわゆる「野焼き」）は法律で禁止されています。

焼却設備とは、法律の基準に適合している焼却炉（届出が必要です）を指します。

以下の行為は禁止です。

- 法律の基準に適合しない焼却炉での焼却
- 空き地での廃棄物の焼却
- 一斗缶やドラム缶での焼却
- コンクリートブロックや鉄板で囲っただけの焼却など

市には、野焼きに対する苦情が多く寄せられています。農地や庭先のたき火など、小規模であっても生活環境への影響があり、悪臭や煙害で近隣住民から苦情がある場合は、指導の対象となります。

ごみは地域の回収日にあわせ、ルールを守ってお出し下さい。

ちょうふ環境にゆ～す



未来へつなぐ調布の環境

●発行：調布市環境部環境政策課

●連絡先：電話：042-481-7086（直通） F A X：042-481-7550

メールアドレス：kankyou@w2.city.chofu.tokyo.jp

※市ホームページでも、環境情報を提供しています（トップページ左下からリンクしています）。

2011年1月
第7号

刊行物登録番号
2010-197

冬の省エネルギーを実践しましょう

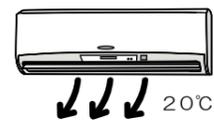
調布市では、政府が実施する「チャレンジ25キャンペーン」に参加し、皆さんと一緒に、地球温暖化対策に取り組んでいます。

冬季は、一般的に暖房機器や照明機器の使用が増加します。地球温暖化防止のため、機器の使用方法を見直し、皆さんも冬の省エネに取り組んでみませんか。



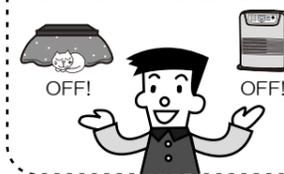
【主な冬の省エネ事例】

☀ 暖房は20℃に設定する。



☀ 電気カーペットは部屋の広さや用途に合ったものを選び、温度設定をこまめに調節する。

☀ 不必要な暖房機器の使用を控える。



☀ こたつはこたつ布団と一緒に敷布団と上掛けも使用し、温度設定もこまめに調節する。

☀ 照明は、省エネ型の蛍光灯や電球型蛍光ランプを使用、またはLEDランプを使用する。

☀ 人のいない部屋の照明は、こまめな消灯を心がける。



☀ テレビをつけたまま、他の用事をしない。



☀ 電気ポットは、長時間使用しないときは、コンセントからプラグを抜く。



☀ お風呂は、間隔をおかずに入り、できるだけ追い炊きを使用しない。

☀ 温水シャワーを流しっぱなしにしない。



☀ 暖房便座は温度設定をこまめに調節し、使わないときはフタを閉める。

☀ 電気・ガス・石油機器などの購入時は、省エネタイプのものを選ぶ。

これらのほかにも、様々な省エネ方法があります。できることから始めて、みんなで省エネに努めましょう。

このニュース誌の感想やご意見がありましたら、お気軽に環境政策課へお寄せください。

多摩川自然情報館まつり 2010 が開催されました

11月27日に、多摩川自然情報館まつりを開催し、親子連れなど大勢の方が来場されました。

当日は楽しくクラフトが作れるエコクラフトコーナー、クイズに答えて景品がもらえる多摩川ものしりクイズ、科学実験体験コーナー、わかば事業所活動展示やバザーなどの出し物で賑わいました。

また、特別展示として染地小学校4年生夏休みの自由研究「多摩川を調べる」で子どもたちの研究が展示されました。



多摩川自然情報館まつり2010の様子

多摩川自然情報館概要

開館時間／午前9時～午後5時

所在地／調布市染地3-8-26 (旧あゆみ学園)

休館日／年末年始等

☆学習室もご利用ください☆

情報館の学習室では、環境学習関連の図書や、パネル展示などがあります。平日は貸出を行い、土・日曜日、祝日は環境学習スペースとして、一般開放しています。

平日貸出料金／

	午前 (午前9時～正午)	午後 (午後1時～5時)
市内在住者 // 在勤者 // 在学者	300円	400円
上記以外	400円	500円

使用申請／

月～金曜日(土・日曜日、祝日、臨時休館日除く)の午前9時～午後5時に多摩川自然情報館の1階共用部分で受付

①環境に関する学習目的：使用日の2か月前から受付

②その他の目的：使用日の1か月前から受付

調布こどもエコクラブの活動

第4回 簡易炭焼き体験

10月23日に、今年度第4回の活動が深大寺自然広場内のカニ山キャンプ場で行われ、講師の指導の下、29人の小学生とその保護者が一緒に、簡易炭焼きを体験しました。

炭焼きに必要な薪となる枯れ枝などを参加者やサポーターの方々に集めた後、それぞれが持ちよった松ぼっくりなどを金属の缶に入れて、キャンプ場の炉の上で炭焼きを行いました。

炭が焼けるまでの間には、ドングリなどを使ったク

ラフトの体験が行われました。

最後にはサポーターが調理したスープをいただいたり、火が残る炉で焼き芋を焼いたりして、調布の雑木林での活動を満喫しました。



活動の様子

第5回 川の石調べとストーンペインティング

11月20日に、第5回の活動が京王相模原線鉄橋付近の河川敷で行われ、講師の指導の下、10名の小学生とその保護者が一緒に、石調べとストーンペインティングを行いました。

石調べは小学4年生以上を対象とし、石の調べ方の資料を使って石の種類を調べました、普段気にかけていない河原の石が、宝の山に見えてくるという、昨年も盛り上がったプログラムで、今年も参加者(保護者の方も!)は珍しい石探しに熱中していました。

また、ストーンペインティングは全年齢を対象にし

たプログラムで、石をキャンパスに見立てて絵を描きました。

まだエコクラブの対象年齢に達していない会員同伴の小さなお子様から保護者の方まで、思い思いの絵を描きました。



石調べの様子

雑木林塾の活動

市では、昭和30年ごろまで生活と農業に深くかかわってきた里山の雑木林の現状を知り、市内に残る樹林の維持管理に役立つ知識と技能を身につけることを目的に毎年、雑木林塾を実施しています。今年度は、7月に塾生を募集し15人の会員でスタートしました。

なお、この雑木林塾は市が主催し、ちょうふ環境市民会議のメンバーが企画・運営しています。

第3回 雑木林の作業に必要な安全管理と技術

第3回目の講座は、10月31日に開催され、午前中は佐須ふれあいの家で、雑木林の作業における安全管理と雑木林の管理方法について学びました。昼食をはさんで午後には、深大寺自然広場へ移動し、雑木林の管理作業に必要な道具と技術の実習を行いました。



カニ山での活動

第4回 雑木林を知る～雑木林の植物を調べる～

第4回目の講座は、11月28日に開催され、雑木林の植物を調べました。午前中は、入間地域福祉センターで雑木林における植物について講義を実施し、午後からは、入間樹林に移動し、実際に雑木林の植生について調べました。



植生調査の実習

調布水辺の楽校の活動

11月3日に、今年度第3回目となる調布水辺の楽校のイベント「多摩川クリーン作戦」が開催されました。

参加したのは、29人の流域7小学校の1～6年生と保護者17人で、多摩川鉄橋下付近で多摩川ごみ拾い、自然観察、生き物観察の体験をしました。

観察では講師指導の下、たくさんの昆虫や植物などを見ることができ、子どもたちにとっては、楽しい思い出となりました。



活動の様子

環境モニター活動

第5回 多摩川河川敷での観察

10月16日に、今年度第5回目の環境モニター活動が行われ、植物観察を行いました。活動場所となった多摩川河川敷は、環境モニター活動で毎年訪れていて、その植物や地形などの変化をずっと観察しています。

今回は講師の発案で、河川敷でよく見られ、種類が少ないので覚えやすいイネ科の植物を中心とした観察を行いました。

観察の最後に行う参加者による植物名の読み合わせでは、50種類以上の植物が確認できました。



水際での観察の様子

第1回 調布そぞろ歩き

調布そぞろ歩きは、環境モニターのサポーターが中心となって実施する調布市内の環境をテーマにしたツアーで、今年度第1回の活動は11月6日に実施されました。

国領周辺の樹木と周辺の昔の様子を見聞きするため、古い農家のお宅を訪ね、庭の柿のお話を聞きました。サポーターからは、ヤドリギなどの特徴的な樹木などの解説が行われました。

参加者のアンケートからは、「身近な場所なのに知らないことが多かった」などの感想が寄せられ、調布の自然や歴史について、新たな発見が多かった様子でした。



そぞろ歩きの様子